

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第29号

令和5年5月12日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

ゴールデンウィークいかがお過ごしでしたでしょうか？

大型連休・家庭訪問も終わりました。連休は雨の日が多かったですね。5月の連休明けは、大人も子供も4月や5月の連休中の疲れが残ったりして疲れがちになりやすい（いわゆる5月病）とも言われています。運動会の練習も始まっています。ご家庭でも生活のリズムを元に戻すなどして体調管理をお願いいたします。

家庭訪問では玄関先で短時間の訪問になりましたが、担任との情報交換はできたでしょうか。大変お世話になりました。新学期が始まって約1か月が経過し、学校生活もほぼ予定通りに進んでいます。

4月25日、火災を想定しての**避難訓練**を行いました。1年生にとっては初めての訓練です。非常ベルの音にびっくりしたかもしれませんが、みんな静かにすばやく避難することができました。避難の時に注意すべきこと、避難訓練は命を守る大切な学習であること等の話をしました。子供たちは真剣に訓練に取り組んでいました。

今後も火事が起こらないように、家庭でも十分にお気をつけください。

学校探検を実施しました！

4月27日（水）1・2年生が学校探検を行いました。2年生の案内を受けながら1年生が校内を探検して回りました。校長室にも、「学校探検で来ました。入ってもいいですか？」と元気よく挨拶をしてやってきた子供たち。

興味津々の顔つきで、「これは何ですか？」等と質問したり、「うわぁ写真がいっぱいだ。」等と反応したりしながら、校長室の様子を見学していききました。



校長室の窓から 「一生懸命⇒一笑健明」

上のような言葉を聞いたことがあります。

「一生懸命」はもちろん大切なことですが、「一笑健明」もいいですよ。造語ですが、『一日1回は笑って、健康に明るく過ごしましょう。』という意味だそうです。

『ストレス社会の中で、人はイライラを募らせ、笑うどころかささいなことにも怒りっぽくなっている。心を穏やかにするにはどうすればいいのか。ある言葉を常に口にするのを勧めていました。それは「ありがとう」です。』

『…「笑う」ことと、心からの「ありがとう」。すてきなことです。』

子供と保護者と教職員、そして地域の方々の間に、「笑い」と、心からの「ありがとう」がますます響き合う萱瀬小学校をみんなで創りましょう。

交通安全教室（１・２年生）を行いました。

５月２日（火）、交通安全協会の指導員の方に講師として学校に来ていただき、交通安全教室を実施しました。道路歩行の仕方を聞き、体育館に仮設の横断歩道や信号機を設置し、横断歩道の渡り方を実際に行いました。子供たちは指導員の方の話をよく聞いて実行することができていました。



授業参観・PTA総会への参加ありがとうございました。

４月１９日、今年度最初の授業参観・学級懇談会・PTA総会を行いました。特に１年生にとっては初めての授業参観でした。お子さん方の様子を参観されていかがでしたでしょうか。どの学年の児童もお家の方に参観していただき、張り切って学習していました。授業参観の後は、PTA総会を行い、必要事項を審議しました。その後、学級に分かれて懇談会を行いました。学級担任との顔合わせや今年度の活動計画等について話し合われました。ご多用な中、参加してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



【１年生】



【２年生】



【３年生】



【４年生】



【５年生】



【６年生】



【たんぽぽ学級】



【なのはな学級】

学警連（大村市学校警察連絡協議会）が行われました

５月８日標記の会議が行われました。学校と警察で情報交換を行って児童生徒の非行及び交通事故等を防止し健全育成を図ることを目的としています。その会議の中で、交通事故防止に関わって、令和５年４月１日から全世代で自転車のヘルメット着用が努力義務になったことが改めて確認されました。命を守るための取組です。ご協力をよろしくお願いします。

尚、今年度の大村市の重点目標は、①「ヘルメットの着用も含めた交通安全意識の向上」
②「情報モラル・マナーの向上」と設定されましたので、お知らせしておきます。